

提 言 書



平成 2 6 年 月 日

県政運営評価戦略会議

は じ め に

県政運営評価戦略会議は、徳島ならではの施策や事業が「最少の経費」で「最大の効果」を発揮できるよう、「県民目線からのチェック」と「県民意見の県政への積極的な反映」を図ることを目的に、平成23年10月に発足しました。

この戦略会議では、昨年度に引き続き、「いけるよ！徳島・行動計画」の主要事業を対象に評価を行うとともに、今年度においては、行動計画の最終年度であることから、これまでの取組の成果に重点を置きつつ、今後の達成見込みを見据えた評価を実施しました。

また、とくしま目安箱などに寄せられた「県民からの意見・提言」についても戦略会議で審議し、県の施策に反映すべき優れた意見・提言として12件を選定いたしました。

これらの評価結果等について、提言書として取りまとめましたので、徳島県総合計画審議会において、速やかに御協議いただき、「既存事業の見直し」や「新たな施策・事業の展開」、「徳島発の政策提言」の他、新たな総合計画の策定に御活用いただきたいと考えております。

平成26年 月 日

県政運営評価戦略会議
会 長 石田 和之

目 次

1	県政運営評価戦略会議について	1 頁
	(1) 役 割	1 頁
	(2) 委員について	1 頁
2	今年度の政策評価	2 頁
	(1) 開催状況	2 頁
	(2) 評価方法	2 頁
3	評価結果	4 頁
	(1) 主要事業の評価結果等	4 頁
	(2) 戦略会議の総括意見	5 頁
	(3) 基本目標ごとの意見・提言	6 頁
	(4) その他	8 頁
4	「県民からの優れた意見・提言」の採択について	9 頁
5	県政運営評価戦略会議 委員名簿	1 1 頁

(別冊)

「いけるよ！徳島・行動計画」主要事業等評価シート

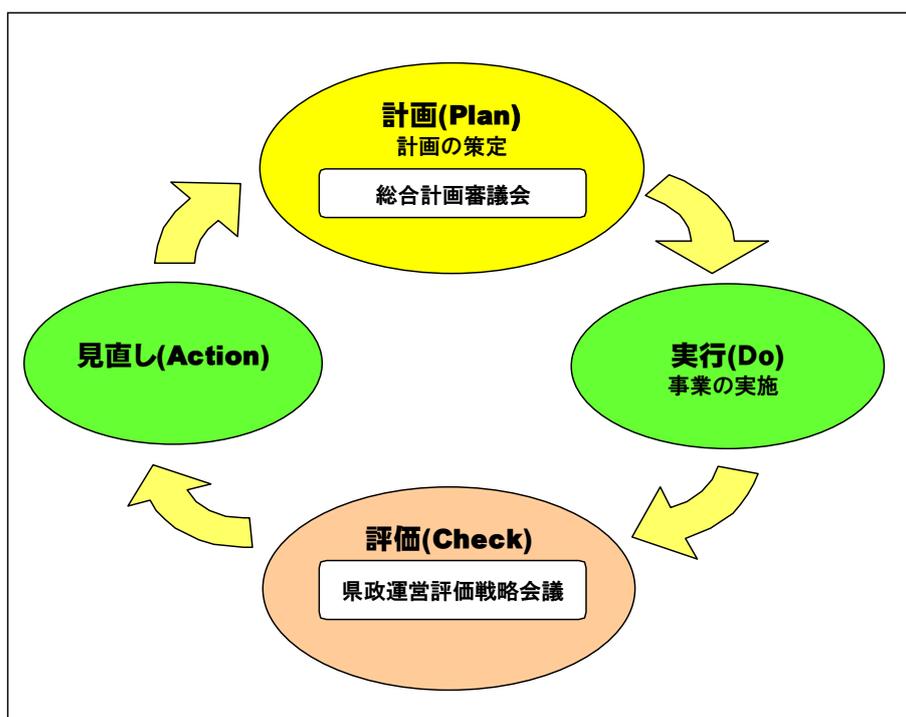
1 県政運営評価戦略会議について

(1) 役割

「いけるよ！徳島・行動計画」（以下「行動計画」という。）の評価については、県民目線からのチェック機能の強化を図るため、行動計画の策定・推進から評価までを担っていた「徳島県総合計画審議会」の評価部門を切り分け、平成23年10月から、新たに設置した第三者機関である「県政運営評価戦略会議」（以下「戦略会議」という。）において実施している。

この戦略会議で協議された評価結果は、徳島県総合計画審議会に提言され、現行事業の見直しや新たな施策展開の他、新たな総合計画の策定にもつなげていくこととしている。

また、戦略会議においては、「とくしま目安箱」などに寄せられた県民からの意見・提言について、優れたものを選定し、徳島県総合計画審議会に提言することにより、県民意見の県政への積極的な反映を図る役割も担っている。



(2) 委員について

戦略会議の委員は、大学教授などの学識経験者や企業・団体関係者、地域のリーダーなど、14名で構成している（委員名簿は11頁参照）。

2 今年度の政策評価

(1) 開催状況

今年度の戦略会議は、7月30日の第1回会議を皮切りに8月27日まで、基本目標ごとに7回にわたり開催した。

	日 程	評価対象となる基本目標	班別
第1回	7月30日(水)	基本目標3「安全安心・実感とくしま」	全体
第2回	8月5日(火)	基本目標5「みんなが主役・元気とくしま」	2班
第3回	8月5日(火)	基本目標6「まなびの邦・育みとくしま」	2班
第4回	8月19日(火)	基本目標7「宝の島・創造とくしま」	2班
第5回	8月22日(金)	基本目標2「経済・新成長とくしま」	1班
第6回	8月27日(水)	基本目標1「にぎわい・感動とくしま」	1班
第7回	8月27日(水)	基本目標4「環境首都・先進とくしま」	1班

注) 会議の進行は、全体が石田会長、1班は阿部副会長、2班は南波委員が実施。

(2) 評価方法

今年度は、行動計画の最終年度であることから、

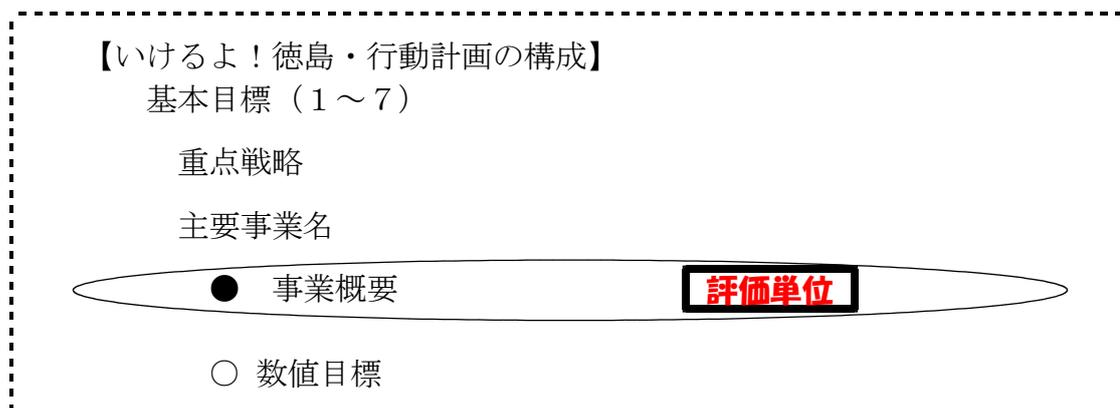
- ・目標達成に向けラストスパートをかける
- ・新たな総合計画の策定につなげる

ことを念頭に置き、具体的には、「平成25年度を中心とした、これまでの取組内容及び成果」と「今後の取組方針及び達成見込み」の2つの視点から評価することとした。

評価方法としては、あらかじめ、担当部局が作成した主要事業（事業概要）ごとの「評価シート」に基づき、委員の代表者が「評価案」を作成し、それを戦略会議の場で議論した上、「評価結果」として取りまとめるという方法で行った。

ア 評価の単位

今年度は、昨年度と同様に行動計画に位置付けられた主要事業（750事業）を対象として実施した。



イ 評価項目等

各主要事業の評価項目，評価区分及び項目ごとの評価の目安は，次のとおりとした。

評価項目	評価区分	評価の目安
平成25年度を中心とした，これまでの取組内容及び成果	妥当	取組内容及び数値目標が妥当であるとともに，数値目標が達成され，これまでの取組みにより具体的な成果が十分に上がっているもの
	概ね妥当	取組内容及び数値目標が妥当であるとともに，数値目標がほぼ達成されている等，一定の成果が上がっているもの
	不十分	取組内容や成果が不十分であるもの
今後の取組方針及び達成見込み	妥当	進捗状況を踏まえた課題把握及び今後の取組方針が妥当であり，目標が順調に達成できると見込まれるもの
	概ね妥当	進捗状況を踏まえた課題把握及び今後の取組方針が概ね妥当であり，目標の達成が可能であるもの
	不十分	課題把握や今後の取組方針が不十分であり，目標の達成に更なる努力を要するもの

ウ 評価

各主要事業の評価については，上記イで示した2つの評価項目により，次のA～Dの4段階で示すこととした。

A：順調， B：概ね順調， C：要見直し， D：抜本的な見直し

A～Dの評価の目安		これまでの取組内容及び成果		
		妥当	概ね妥当	不十分
今後の取組方針及び達成見込み	妥当	A	B	C
	概ね妥当	A	B	C
	不十分	B	C	D

3 評価結果

(1) 主要事業の評価結果等

戦略会議での評価結果は、
「A（順調）」と評価されたものが、532事業（70.9%）
「B（概ね順調）」とされたものが、135事業（18.0%）
「C（要見直し）」とされたものが、53事業（7.1%）
「D（抜本的な見直し）」とされたものが、30事業（4.0%）
となった。（表－1）

表－1 主要事業の評価結果について 上段：事業数，下段：%

基本目標	評価				
	A 順調	B 概ね順調	C 要見直し	D 抜本的な 見直し	計 (比率)
1 にぎわい・感動とくしま	62 (59.6)	22 (21.1)	11 (10.6)	9 (8.7)	104 (100.0)
2 経済・新成長とくしま	87 (67.4)	23 (17.8)	9 (7.0)	10 (7.8)	129 (100.0)
3 安全安心・実感とくしま	129 (82.7)	19 (12.2)	6 (3.8)	2 (1.3)	156 (100.0)
4 環境首都・先進とくしま	53 (53.5)	29 (29.3)	10 (10.1)	7 (7.1)	99 (100.0)
5 みんなが主役・元気とくしま	50 (69.4)	11 (15.3)	10 (13.9)	1 (1.4)	72 (100.0)
6 まなびの邦・育みとくしま	68 (81.0)	13 (15.4)	2 (2.4)	1 (1.2)	84 (100.0)
7 宝の島・創造とくしま	83 (78.3)	18 (17.0)	5 (4.7)	0 (0.0)	106 (100.0)
計 (比率)	532 (70.9)	135 (18.0)	53 (7.1)	30 (4.0)	750 (100.0)
参考 H25年度の評価比率	(65.3)	(27.7)	(6.3)	(0.7)	(100.0)

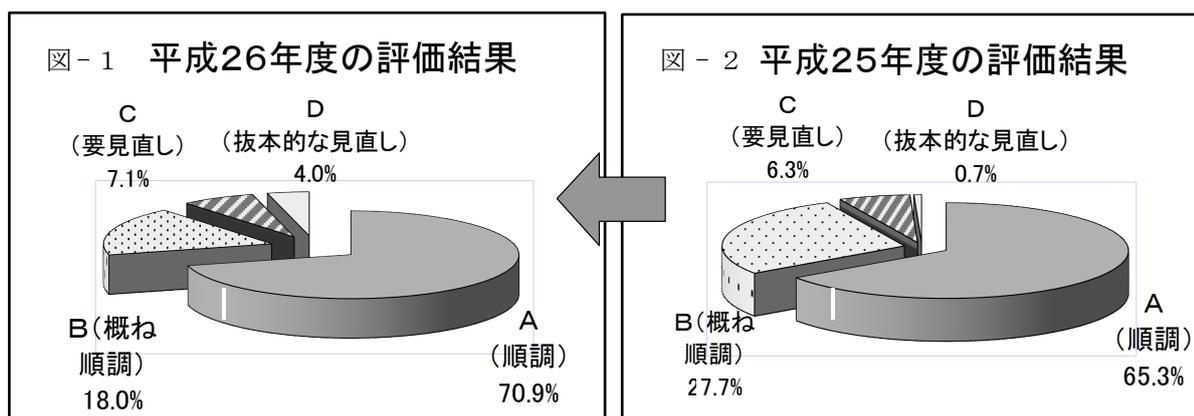
また、主要事業ごとの評価結果は、別冊の「いけるよ！徳島・行動計画」主要事業等評価シートのとおりである。

(2) 戦略会議の総括意見

今年度の評価結果(図-1)をみると、昨年度の評価結果(図-2)と比較し、B評価(概ね順調)が大きく減少(9.7ポイント減)し、それに伴って、A評価(順調)が増加(5.6ポイント増)するとともに、C評価(要見直し)及びD評価(抜本的な見直し)も、それぞれ増加(C評価:0.8ポイント増, D評価:3.3ポイント増)している。

また、A評価及びB評価の合計では、4.1%減少(H26:88.9%, H25:93.0%)し、その分、「見直し」が必要なC評価及びD評価の合計が増加(H26:11.1%, H25:7.0%)している。

これらについては、行動計画の期間も残すところ平成26年度のみとなり、それぞれの主要事業について、最終的に目標を達成することができるかどうか、ある程度、明確になってきたことが、大きな要因と考えられる。



今回、C評価及びD評価を受けた主要事業については、それぞれの評価意見を参考に、事業推進方法等の見直しに積極的に取り組んで欲しい。

(別冊295ページ～339ページ「C評価・D評価の主要事業一覧」参照)

特に、3年連続でC又はD評価とされたものが、次の7事業認められたので、所管部局においては、取組内容、課題把握、今後の取組方針など事業全般を通じて、しっかりと見直しに取り組む必要がある。

(主要事業のうち、番号6, 19, 315, 589, 722, 723, 724)

現在の「いけるよ!徳島・行動計画」の計画期間終了(平成26年度末)まで、残すところ4ヶ月余りとなっている。

残された期間は少ないが、今後、各事業における最終目標の達成に向け、全庁を挙げて「ラストスパート」をかけていただきたい。

また、今回の評価結果を、新たな総合計画の策定にもつなげていくことにより、新計画が一層進化した内容となることを期待したい。

(3) 基本目標ごとの意見・提言

750の「主要事業」の個別評価に加え、7つの「基本目標」ごとに、戦略会議の委員から次のような意見・提言がなされたことから、今後、施策を進めていく上で参考にさせていただきたい。

<基本目標1「にぎわい・感動とくしま」>

- ・ 観光政策は、高い目標を掲げている施策が多いことから、評価結果は厳しいものとなっているが、本四高速の全国共通料金制度の導入等のチャンスを捉え、宿泊者の増加に向け積極的に取り組んでいることは、評価できる。

なお、今後、個々の施策を実施するだけでなく、全国レベルでの徳島県のブランド力を調査するなど、施策の効果もしっかりと検証しながら進めていくことが重要である。

- ・ 徳島ヴォルティスがJ1に昇格するなど、スポーツへの県民の関心が高まっている機会に、競技力の向上はもとより、県民が身近にスポーツを楽しめるような施策を一層推進して欲しい。

<基本目標2「経済・新成長とくしま」>

- ・ 農工商連携学部への取組など、本県の基幹産業である農業を担う人材育成への取組は高く評価できるものであり、優れた経営感覚を備えた農業人材の育成に向けて、引き続き頑張ってもらいたい。

また、林業についても、ここ数年、県の「次世代林業プロジェクト」の展開などの効果もあり、若者を中心に新規就業者が増えてきており、県産材の生産量も伸びてきている。今後も新たな担い手の確保等に向けた取組を進めて欲しい。

<基本目標3「安全安心・実感とくしま」>

- ・ 防災に関する施策は、人の命に直結するものであり、災害はいつ発生するか分からないことから、全てA評価を目指して頑張ってもらいたい。
- ・ 防災対策については、ハード面の施策は比較的順調に進んでいるものの、住民や市町村を巻き込んだソフト事業の中には目標の達成が遅れているものも見受けられる。ハード面とソフト面の対策が両輪となって、一体的に展開できるよう取り組んで欲しい。

<基本目標4「環境首都・先進とくしま」>

- ・ 環境分野の施策についても、高い目標を掲げている施策が多く、全体的に厳しい評価となったが、浄化槽の法定検査受検率が前年度に比べ大幅に上昇するなど、個々の取組には評価できるものが多い。安易に目標を引き下

げることなく、県民の生命・健康を守るため引き続き頑張っ
て欲しい。

- ・ 全国に誇れる本県の豊かな自然環境を次世代にしっかりと引き継ぐため、希少野生生物やその保護活動等に関する知識の習得機会を増やすこと等により、生物多様性に関する県民意識の一層の醸成に取り組んで欲しい。

<基本目標 5 「みんなが主役・元気とくしま」>

- ・ 年金の支給開始年齢の引き上げなど、高齢者間の経済格差の拡大が見込まれる中、経済的な理由から働く必要のある高齢者に対し、今後、何らかのバックアップやセーフティネットの構築などの取組が必要ではないか。
- ・ 少子化が一層進む中、働きながら子育てができる環境づくりなどを部局横断的に進めて欲しい。また、高齢者が生きがいの観点から、地域で子育てをサポートできるような取組も有効ではないか。

<基本目標 6 「まなびの邦・育みとくしま」>

- ・ 過疎地域の小中学校では、児童生徒数が大きく減少し、クラスの削減や閉校が進んでいる。また、地理的に学習塾に通うのも大変である。教育の地域間格差が生じないように、ICTを積極的に活用するなど効果的な対策を講じて欲しい。
- ・ 最近、すぐに返事をしないからという理由で仲間はずれにされるなど、中高生の間でスマートフォンのSNSを利用した「ネットいじめ」が深刻化してきており、こうしたいじめに対してもしっかりと対応する必要がある。

<基本目標 7 「宝の島・創造とくしま」>

- ・ 人口減少対策の1つである、県外からの移住の促進については、全国的にも注目されている「サテライトオフィス」などの取組によって、少しずつではあるが成果が現れてきており、今後一層の展開に期待したい。
- ・ 観光をはじめとした交流施策については、人口減少社会にあって、経済の活性化や地域コミュニティへのプラスの影響など、多様な効果が見込まれる。今後、地域の「創生」を図るためにも、引き続き力を入れて取り組んで欲しい。

(4) その他

なお、戦略会議での「主要事業」の評価を行う際に、数値目標の設定等について、次のような意見が出されたので、新たな総合計画の策定等にあって、検討をお願いしたい。

- 社会情勢等に大きな変化があり、目標自体が現状に合わなくなった場合には、計画期間の途中であっても、柔軟に目標の変更を行うことが必要ではないか。
また、目標を達成し、既に事業が終了しているものについては、計画そのものから削除し、新たな目標を設定し直してもよいのではないか。
- 評価は前年度の取組実績を対象としていることから、戦略会議の評価を受け次年度から数値目標を見直した場合、見直し後の数値目標をもとに評価できるのは2年後になってしまう。次年度の戦略会議の評価の際に、見直し後の数値目標で評価ができるよう、工夫する必要がある。
- 数値目標が設定されていない主要事業の中には、単に、「促進」、「推進」などとし記載されていないものがあるが、数値目標の設定なども含めて、その事業の到達点を明確にしておく必要がある。
- 数値目標には「成果指標」と「活動指標」があるが、県民から見て成果（効果）がより分かりやすいように、できるだけ「成果指標」を設定することとしてはどうか。
- 数値目標を設定しているが、評価年度にその結果が分からず、次年度以降にその結果が分かるような数値目標が見受けられる。評価を行うにあたって、事業効果を数値目標（実績）から判断することができないため、別の指標の設定についても検討が必要ではないか。
- 数値目標について、単年度ごとの目標設定が可能にもかかわらず、計画初年度からの「累計」を各年度の数値目標としているものが見受けられる。「累計」では単年度成果が分かりづらいことから、数値目標の設定に際して留意する必要がある。
- 評価にあたっての客観的な判断材料として、数値目標だけでなく、全国平均や全国順位などのデータがあれば、できるだけ各所管部局が作成する「主要事業等評価シート」の中で示していただきたい。

4 「県民からの優れた意見・提言」の採択について

平成25年7月から平成26年6月までに「とくしま目安箱」に寄せられた意見・提言（1045件）や、同期間中に開催された「わくわくトーク」、「知事・市町村長会議」で出された意見の中から、あらかじめ事務局で選択した意見等について、各委員にアンケートを実施し、投票数が多かったものを第1回戦略会議で審議した結果、次の12件を「県民からの優れた意見・提言」として採択した。

これらの意見・提言について、できる限りその趣旨を施策等に反映していただきたい。

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」

	提言先	項目	意見・提言の概要
1	目安箱	おもてなしについて	「東京オリンピック」開催決定の際に「おもてなし」が話題になったが、徳島（四国）の財産である「お遍路さんへのお接待」を「おもてなし」として発信し、五輪に役立てることはできないか。
2	目安箱	徳島の芸術の芽をつなごう	出羽島、海南文化村、神山に三好市のマチトソラ、LEDアートや万代埠頭など、芸術の取組みが県内各地でスタートしている。これらをまとめたホームページの作成や、近県のアート施設や道の駅へのチラシの配付など、他県へ発信してはどうか。
3	目安箱	三好市をアクティビティの街に	ニュージーランドのクイーンズタウンはアクティビティの拠点として、バンジージャンプ、ジェットボード、クルーズ、星空ツアーなどを楽しめる。多くの観光客を呼ぶために、景観保護や安全性確保など課題をクリアし、宿泊施設やアクセスを整備することによって、これらを大步危や祖谷周辺で実施できないか。
4	目安箱	環境とエネルギー問題について	電気自動車で県内を中心によく走行するが、阿南市より南に充電設備が全くない。日和佐、鷺敷、牟岐等の地域の道の駅や病院、宿泊施設等に、早い機会に1か所でも充電設備を整備できないか。
5	目安箱	すだちの色々な食べ方の募集	県外の人にとってすだちは身近なものではない。すだちには、「味噌汁に入れる」「ごはんにくっつけて絞る」「意外とカレーに合う」などの美味しい食べ方があるが、それ以外にもまだまだあるのではないか。そこで「すだちの食べ方」を県民から募って、県外に向けてすだちとともに紹介してはどうか。

	提言先	項目	意見・提言の概要
6	目安箱	すだちくんのLineスタンプ	私はすだちくんが大好きで、普段使っているLineのスタンプにも、すだちくんのものがあればいいないつも思っている。イラストのすだちくんは本当にかわいいので、色々なバージョンで配信してはどうか。
7	目安箱	高速バスのスロープ付バス導入について	京阪神行きのバスにスロープ付バスが1台もなく、電動車椅子で乗車できない。1台でもいいので、高速バスにスロープ付車両を導入して欲しい。
8	目安箱	インターネットでダウンロードできる県民手帳、防災手帳	災害の最新情報、津波の高さ、避難場所、避難経路を掲載した県民手帳、防災手帳をダウンロードできるホームページを作してほしい。プリントアウトすることで、緊急情報満載の持ち歩けるノートとなる。
9	目安箱	科学技術振興策	子供達の関心が科学技術から離れているという話をよく聞く。県内には少年少女発明クラブが3つしかないことから、科学技術振興策に、少年少女発明クラブ活動の支援策を盛り込んでほしい。
10	目安箱	徳島県民の糖尿病予防と野菜摂取量向上について	徳島県民は、全国的に見て野菜の摂取量が少なく、糖尿病患者が非常に多い。そこで、例えば、「まず、野菜！食べる順番まもるけん（県）」というような県民に分かりやすい標語を作ってはどうか。
11	わくわくトーク	剣山の魅力を体感してもらうために	剣山の素晴らしい自然を、徳島県の子ども達に知ってもらうために、小学校の5、6年生になったら、学校の伝統行事として剣山に登ってもらい、剣山を知ってもらってはどうか。
12	知事・市町村長会議	阿波とくしま・商品券について	商工団体が実施したプレミアム付き地域商品券「阿波とくしま・商品券」は、県・市町村が連携して支援し、県内の個人消費の拡大、事業活動の活性化、経済の好循環の一助を図っており、販売後、即、完売となったものもある。第2弾の発売をお願いしたい。

5 県政運営評価戦略会議 委員名簿

	氏 名	現 職 等	班別
会 長	石田 和之	徳島大学大学院 准教授	1
副会長	阿部 頼孝	徳島文理大学 徳島文理大学短期大学部 教授	1
委 員	井関 佳穂理	公認会計士	1
〃	坂本 真理子	NPO法人郷の元気 副代表理事	2
〃	佐和 良佳	美馬市社会福祉協議会 事務局長	1
〃	田村 耕一	(公財)徳島経済研究所 専務理事	2
〃	土佐 和恵	松茂農業協同組合 理事	2
〃	南波 浩史	徳島文理大学 教授	2
〃	橋本 延子	女性林業研究グループ「那賀川こまち」 会長	1
〃	浜口 伸一	(株)ハマグチ 代表取締役	2
〃	濱口 英代	和田島漁業協同組合 参事	2
〃	福島 明子	四国大学 講師	2
〃	藤原 学	四国労働金庫 常務理事	1
〃	森本 長生	(株)道の駅日和佐 駅長	1